

# NEXT21に「デベロッパー提案の新住戸」が10月公開予定！

大阪ガス実験集合住宅「NEXT21」で、  
「NEXT21」で、  
パートナー企業と共同設計した  
改修住戸の公開見学会が開かれます。

**大** 阪ガス実験集合住宅「NEXT21」では、1994年に居住実験を開始し、当初から環境との共生をテーマに、スケルトンインフィル方式などの建築システムや自然生態系の復元、エネルギーシステムに関する実験を弊社社員家族が実際に住みながら検証する形で実施してきました。

2013年度に開始した第4フェーズ居住実験においては、404住戸と501住戸の改修を実施するにあたり、次世代の居住のあり方を改めて問うため、設計を共同で検討していただけた住宅供給企業パートナーを選ば「NEXT21設計パートナー・コンペティション」を実施いたしました。対象住戸では、それぞれ異なる課題を設定し、よりリアルで時代のニーズを酌み取った実験住宅を実現するた

めの提案を募集しました。審査委員（\*）による選考の結果、404住戸は大京・岩村アトリエグループ案、501住戸は近鉄不動産・アトリエオズミグループ案がそれぞれ選出されました。提案を元に設計、工事が進められ、10月から公開見学会を予定しております。どのような住戸となり、完成したかぜひご覧ください。

\*審査委員／馬場正尊氏（建築家／Open A代表、東北芸術工科大学准教授）、島原万丈氏（株式会社ネクスト／HOMES総研所長）、加茂紀和子氏（建築家／みかんぐみ、ICSカレッジオブアーツ特任教授）、木全吉彦（大阪ガス㈱エネルギー・文化研究所所長）



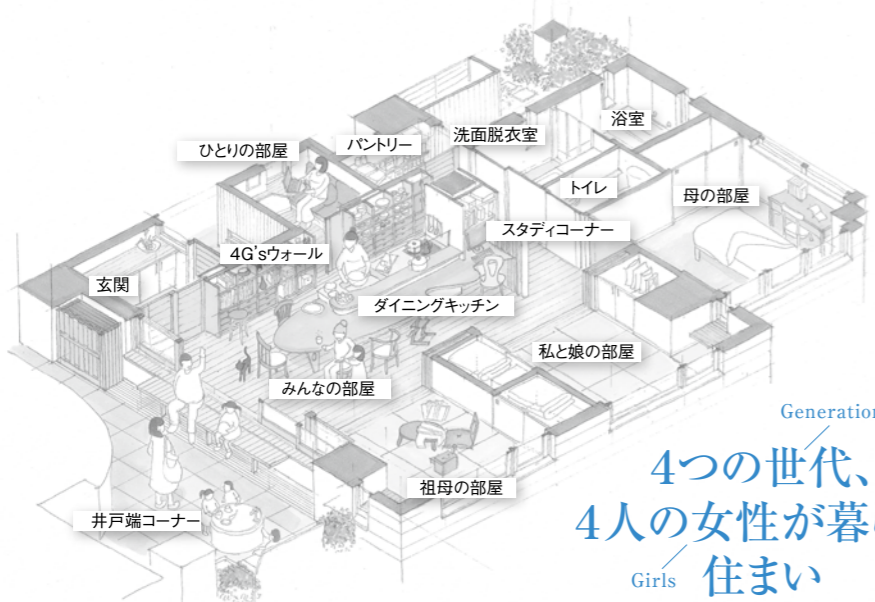
NEXT21外観

NEXT21

## 404 住戸

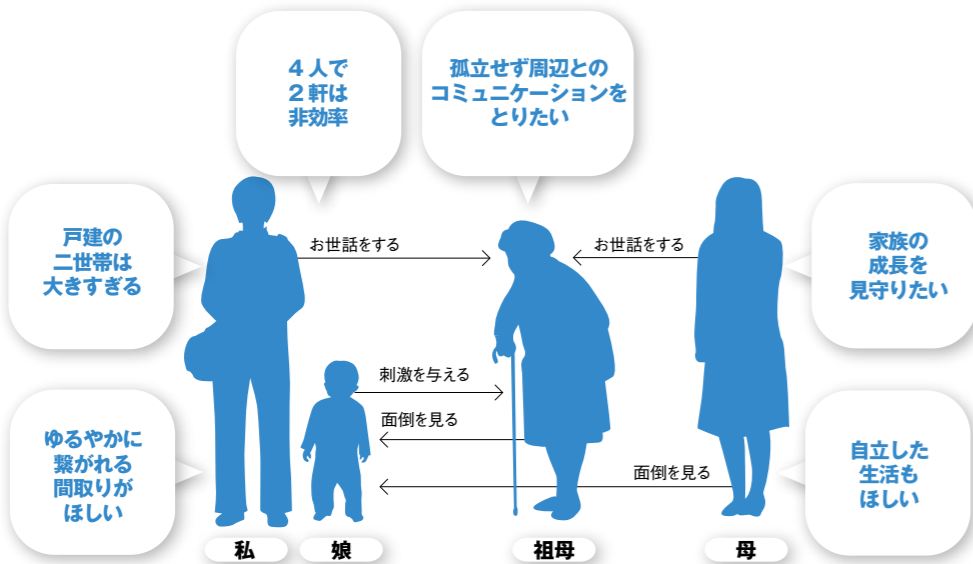
### 『4G HOUSE』

株式会社大京・  
株式会社岩村アトリエ



Generation  
4つの世代、  
4人の女性が暮らす  
Girls 住まい

※掲載の間取りは提案時のもので、竣工時とは異なります。



### 課題設定

7年後の2020年頃、家族はどのような姿をしているのでしょうか。今より個々の独立性を求めるのか、逆につながりを求めるようになるのか。独り暮らしが増えて住居の個人化は進むのか、それとも誰かと一緒に住む方法を模索するのか。高齢化や少子化は、家族や家にどのような影響を及ぼすのか。未来の家族のひとつのあり姿を想定し、彼ら、彼女らが住みたい理想の家を「404住戸」では求めました。

### 企業からの提案

これまで私たちは、一般的な家族を対象にしたファミリータイプ・DINKSタイプといった住宅を主流として供給してきました。しかし家族の世帯構造は時代とともに少しずつ変化してきています。少子高齢化の進行や離婚率の増加などに伴い、単身世帯や2人世帯といった小規模な世帯が増加する一方、経済的また日常生活の面でも、それらの世帯が単独では暮らしにくくなっており、この傾向は今後もより顕著になると考えられます。そこで「1つの世帯に1つの住まい」ではなく、少人数の世帯同士が集まり、お互いにサポートしながらも、各々が自立しいきいきと永く暮らせる新しい住まいのカチをつくらうと考えました。「祖母、母、私、娘」の4つの世代、4人の女性が、それぞれ自立した個人として、同時にお互いを支え合い、世代間を継ぐ住まい。それが私たちの提案する「4G HOUSE」です。

NEXT21

## 501 住戸

### 『プラスワンの家』

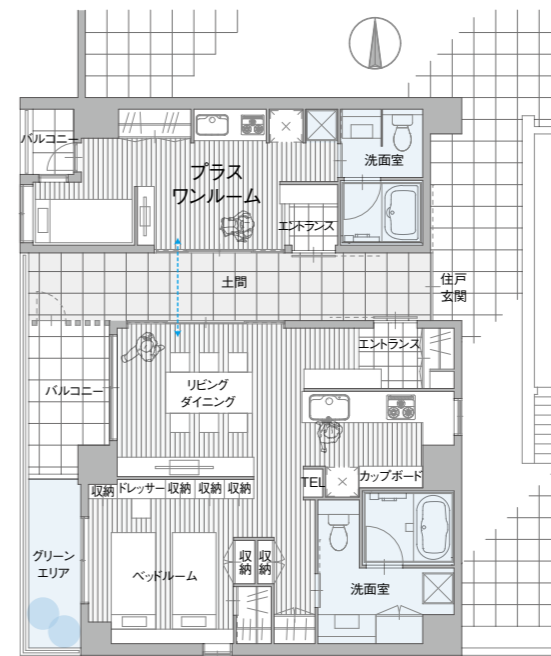
近鉄不動産株式会社・  
株式会社アトリエオズミ

### 課題設定

これまで、多くの集合住宅の基本モデルは家族を対象にしてつくられてきました。しかし、今後は誰と一緒に、どのように住むのか。住まい方はさらに多様化しようとしています。誰かと住む。それは家族かもしれませんが、家族ではないかもしれません。例えば、誰かと何か（空間、時間、行為etc.）をシェアしたり。こうした提案によって生まれる次の時代の住まいの形や可能性を「501住戸」では求めました。

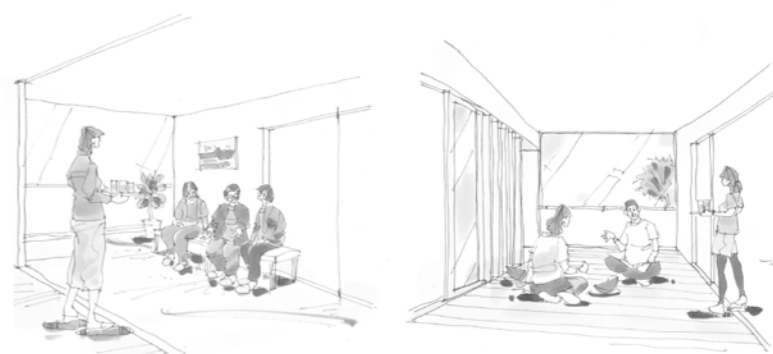
### 企業からの提案

ワーキングシングルの増加を背景に、60代を中心とした世帯では「1.5世帯」（夫婦+単身の子）が増加しています。戸建住宅においては、幅広い世帯構成に合わせた住まいがつけられ始めていますが、集合住宅の基本モデルは限定された世帯（1世帯）に向けてつくられているのが現状です。そこで、501住戸では50～60代の夫婦を中心軸に、1.5世帯に向けた新しい集合住宅のカチを提案しました。共に暮らす「誰か」（＝プラスワン）が変化しても、お互いの生活を尊重し、住み続けられる。時の流れと共に変化する「家族の在り方」。そんな流れに沿って住み続けられる、変わらない家がコンセプトです。基本は60代夫婦+子（単身）の想定ですが、夫婦とその母など、共に暮らす「誰か」が変化しても住み続けられる住まいです。また、プラスワンルームを賃貸にする等の使い方も可能です。



※掲載の間取りは提案時のもので、竣工時とは異なります。

### 「誰か」が変化しても住み続けられる家



夫婦60歳 + 祖母80歳 | プラスワン

夫婦55歳 + 娘25歳 | プラスワン